



あなたのこれからに贈りたい  
Live Letter from MG



- 15 **MGにこの人あり**  
アレン・K・ファウスト
- 14 **CAMPUS NEWS**
- 13 サークル紹介
- 11 **My way MG way**  
卒業生の仕事場訪問
- 09 **ACTION**  
河北みらいプロジェクト  
MG卒業生が講師に
- 07 **特集**  
第4回宮城学院クリスマスマーケット
- 05 **学問へのいざない**  
「多角的に見て気づく力」を学ぶ  
「聖書の視点から人生、社会を見ること」を学ぶ
- 01 **誌上セミナー**  
基礎的な実習からさらに踏み込んで  
保育の現場を体験しながら深く学ぶ

「Partir (パルティール)」はフランス語で「出発する」  
新しい時代に飛び立とうとする女性たちを支援、励ますために、  
宮城学院女子大学から発信するコミュニケーション情報誌です。



## アレン・K・ファウスト

1900 (明治33)年、外国への伝道を志す妻のクリスティンと共に、アメリカから来日。彼は東北学院で、妻は宮城女学校で、それぞれキリスト教学校での任務に献身的に取り組みます。しかし翌年、最愛の妻と子どもに先立たれてしまった彼は、二人を北山キリスト教墓地に埋葬。妻との使命を果たすため、日本にとどまることを決意します。その後1913 (大正2)年に、宮城女学校第6代校長に就任。1930 (昭和5)年に帰国するまで、自らの任務を全うします。

一方、社会福祉活動にも積極的で、当時結核大国であった日本で「日本結核予防協会」の設立や「肺結核療養所設置及び国庫補助に関する法律」の制定に尽力。ほかにも、凶作時には困窮農家を支援政府から表彰されるなど、宮城学院のみならず日本に対しても多大な貢献をしました。



① 非常に流暢な日本語を話したファウスト ② 机でペンを走らせるファウスト  
③ 第一校舎前でのスナップ。ファウスト (最前列中央) と土井晩翠 (同列右端)

### MG archives

#### 妻クリスティンの思いをカタチにした第一校舎

「宮城女学校のシンボル」ともいえる存在の第一校舎。1904 (明治37)年に献堂されますが、第二次世界大戦下の1945 (昭和20)年、仙台空襲で外壁を残して焼失します。実はこの建物、「ファウストの妻であるクリスティンの崇高な思いを、後世まで残したい」との思いを受け、集められた寄付金で完成したものです。そんな彼女の名を冠し、別名「クリスティン・ファウスト・メモリアルホール」とも呼ばれていました。



## 「発達支援実習」

基礎的な実習からさらに踏み込んで  
保育の現場を体験しながら深く学ぶ

テーマをもって子どもと関わり、プロとしての土台づくり

幅広い保育の分野から  
興味関心のあるテーマを学ぶ足立 今日では学芸学部発達臨床学科の  
選択必修科目である「発達支援実習」  
を受講した学生が集まっていた。足立  
が「発達支援実習」は、2年次と3

足立 智昭 教授

年次に行った保育士や幼稚園教諭の資  
格に関わる実習の枠を越えて、さらに  
学びたい学生に実習先を紹介していま  
す。学びたいことを調査して配属する  
ので、希望に近い学びの環境が提供で  
きたと思います。皆さんの実習のテー  
マを教えてください。

平田 病気の子とも関わる仕事を希望  
していますが、今まで病院で過ごす子  
どもや障害がある子どもとふれあう機会  
がなく、病院実習を希望しました。宮城  
県立こども病院でボランティアとして  
保育に関わり、入院している子どもの  
きょうだいのお預かりも担当しました。

また病棟保育士に話を聞く機会もあり、  
実際に体験しないとわからないことが  
たくさんありました。

片倉 私も平田さんと同じで、今まで接  
点がなかった、病院に入院している子  
どもたちと関わって知識を広げたいと  
思いました。自分が目指している病棟  
保育士の役割と、病児にとつての遊び  
の効果を学ぶことができました。配属  
された病院では、多くの子どもたちが  
短期間検査入院をしていました。比較  
的元気な子どもたちなので短期間でも  
食べ物を制限されるのはストレスがか  
かります。保育士が紙粘土を用意し、

子どもがビザやアイスなど好きなもの  
を作っていました。「食べたい欲求を  
形にして目でとらえ、消化させる」狙  
いがあると知って勉強になりました。

石垣 子どもだけではなく、母親、父親、  
子育て家庭をまるごと支援できる保育  
者になりたいと思います。地域子育て支援  
の施設で実習を希望しました。そこは、  
震災後に福島県から仙台市に転入して  
きた親子を対象にした施設で、お母さ  
んがワークショップを受けている間に  
託児ボランティアを行いました。継続  
して関わり、親子の変化を見ることが  
できましたし、お母さんを支援するこ  
とが子どもにも良い影響を及ぼすこ  
とがわかりました。

奥田 私は保育所の中の子育て支援室  
で、これまであまり関わりがなかった保  
護者と接することができました。地域  
の子育て支援をどう利用しているかを  
テーマに学びました。子どもの遊びの機



片倉 春香さん



平田 美遥さん

会を増やすこと、保護者同士の関わり  
を増やすことはもちろん、幼稚園入園  
前の準備や、いろいろな講座を受講する  
ために利用しているお母さんもありま  
した。そして、核家族化、お母さんの孤  
立化や、子どもの障害に対する不安など

を相談できる場所として支援室があり、  
お母さん方に密に寄り添っていること  
を、現場に入って実感しました。

高橋 私は大学附属「森のこども園」で、  
夕方の預かり保育をメインに、保護者と  
保育者、子どもの関わりを見ることがで  
きました。特に印象的だったのは、3歳  
から5歳の異年齢の縦割り保育の様子  
でした。園庭には遊具がなく、先生方は、  
葉っぱや木などを使って絵を描いたりし  
て遊んでいましたが、年長さんが年下  
の子に教えているのを見て、同じ年齢のク  
ラスでは見られない姿だと思いました。

子どもたちに  
「教える」より「教わる」

足立 保育現場では、毎日異なることが多  
起きて予定どおりにいかないことが多  
く、体験の中ではなく学べないことがた  
くさんあります。皆さんがいろいろな  
視点から子どもを見て、主体的に深く

教育学部 幼児教育専攻  
足立 智昭 教授

[学芸学部 発達臨床学科4年のみなさん]

平田 美遥さん、片倉 春香さん、  
石垣 美奈さん、奥田 梨花さん、高橋 美羽さん

学んだことを知り、良かったと感じています。また、この科目を受講している学生と一緒に、去年の七夕の時にアイバンク募金のボランティア活動をしました。また、12月のクリスマスマスマークレットでは、託児や絵本の読み聞かせなどを担当し企画から準備まで全部自主的に取り組みたのも、いい経験になったと思います。実習やボランティアなどで印象に残っていることを教えてください。

**平田** 病院で治療中の子どものきょうだいの預かりでは、お母さんと来ていても一緒にいられない子どもの姿を見ました。特にお兄ちゃんや、妹が治療しているときに言葉にしなくても淋しいという感情が見えました。子どもの小さい動きや感情もよく見て気づいていこう、と思いました。

**石垣** クリスマスマークレットでは、大型絵本の読み聞かせを担当しました。大型絵本は初めてで、専門家のレクチャー

### 子どもに信頼される大人として成長する

**足立** 間主観的な体験とあって、支援者でもあるが、一人の人間として保護者に寄り添い、そこで生まれる感情を大事にする、それが本当に「寄り添う」ということですが、皆さんがそのことを実践されたと思いますね。子どもが置かれている環境がさまざまななかで、いろいろな背景をもつお子さんを保育していかなければならないので、深い学びが求められていると思います。卒業後、社会に出ると現場では対処できない、理解できないことがたくさん起きると思います。そんなときでもくじけることがないように、基礎づくりをし、助走としていろいろな体験が必要だったと思います。皆さんが、社会に出て実習で学んだことをどう生かしたか、抱負を聞かせてください。



石垣 美奈さん



奥田 梨花さん



高橋 美羽さん

を受けましたが、おじいさんや女の子など声色を変えずに淡々と読むことで、子どもの想像力を育てると聞いて驚きました。

**片倉** 病棟のプレイルームで実習している時、折り紙が得意な子が、自分で考へ出した見たことがないような複雑な駒を作っていて、折り方を教わりました。今まで4年間の勉強で、自分が子どもに何かを与えなきゃと考えていましたが、子どもに教わるという発想もあるんだなと。先生方がよくいう「子どもに与えてもらうこともある」という体験ができました。また、子どもの好きなものや特技を伸ばせる保育者になりたいと思いました。

**奥田** 私と高橋さんはクリスマスマスマークレットで託児を担当しました。保育所の支援室でも託児をする時に保育士の先生方がいろいろな場面を想定して準備をするのを見てきたので、準備段階

いと思っています。**奥田** 保育者として、子どもが嬉しい、楽しいだけではなく、こういうことをしたら悲しい気持ちになるね、皆が喜ぶね、といった気持ちや、経験を子どもたちと共有できる保育士になりたいです。子どもにこうなってほしいというのを、まずは自分が日頃の一つひとつの言葉や行動が見本となれるように、子どもと一緒に目標を大事にして頑張っていきたいです。

**高橋** 私は来年から保育士として働きますが、実習先と違い、外に出て遊んだり自由に動き回れることが少ないピルの中の保育園に配属される可能性が大きいんです。どういう環境でものびのび遊べる環境づくりを今から考えておきたいです。また、自分自身が思いやりをもって、余裕ある行動をして、子どもたちのお手本になれる先生を目指したいと思っています。

**片倉** 抱負として自分にとって新しいと感じるものを取り入れていきたいと思っています。大学4年間、いろいろな学んで考えたこと、培ってきたことを糧にして新しく学べることに、感じたことを取り入れながら、子どもたちも自分自身も人間として成長できるようにしたい

から実習経験が役に立ちました。予想外のことはたくさんありましたが、もしこういうことがあったら、という視点をいくつももって準備をして臨機応変な対応ができました。保育のとなえ方は家庭ごとに違うので、保育士がお母さんたちの気持ちを理解して、関係を密にとりながら一緒に子どもを育てていくことが必要だと思っています。

**高橋** 当たり前ですが、子どもは意外に約束事を忘れません。たとえば「また来週やろうね」と言うと、翌週に「この間の続きは？」と聞かれますし、約束が守れないと「なぜやってくれなかったの」と言われます。守れない約束は絶対しない、嫌そうな顔をしないのは基本です。子どもと遊ぶときは、自分自身が楽しくないと子どもにも伝わるので、安全面を見守るのはもちろん、子どもと対等な気持ちで楽しく遊ぶようにしていました。

**足立** 皆さんには、通常の枠では学べない応用となる知識や技術を社会人としての仕事につなげるという実習の目的を達成していただいたと感じています。また改めて学生たちが自ら学べる場を提供することが、我々の役目として大きいと感じました。今、子どもたちを取り巻く環境はさまざまですが、子どもたちは身近な大人をモデルとして成長していくので、皆さん自身も子どもにとって信頼できる大人の一人として成長していただきたいと思っています。笑顔で子どもの前に立ち、子どもの気持ちを察する観察力も磨いてほしいですね。難しいことは一人で抱えこまず、職場の上司や友人に相談し、時には大学を訪れて学び直しをしてもいいと思います。

から実習経験が役に立ちました。予想外のことはたくさんありましたが、もしこういうことがあったら、という視点をいくつももって準備をして臨機応変な対応ができました。保育のとなえ方は家庭ごとに違うので、保育士がお母さんたちの気持ちを理解して、関係を密にとりながら一緒に子どもを育てていくことが必要だと思っています。





## 「聖書の視点から人生、社会を見ること」を学ぶ

一般教育部 栗原 健 准教授

宮城学院女子大学は創立以来130年余り、キリスト教主義を貫いてきました。その必修科目として、聖書の基礎を学ぶ「キリスト教Ⅰ」、現代社会の問題をキリスト教の視点から考え直す「キリスト教と現代社会」を教えています。クリスチャンではない学生がキリスト教を学ぶ意義は何でしょうか。国際社会や文化を理解するためには、世界の主要な宗教のひとつであるキリスト教を知る必要があります。けれどもそれ以上に大切なことは、「世間一般の価値観と違う視点から、社会や自分の生き方、物事を見る力」を養うことです。キリスト教は、単なる道徳や仙人の教えではありません。すべての人間は「神のかたち」としてつくられ、どんな人間も尊厳をもつ大切な存在

### 自分自身を受け入れることを聖書は教えてくれる

です。神に愛されているから自分自身を受け入れることができ、人のことも大切にできる、というのがキリスト教の基本的な考え方です。残念ながら今の社会は実力主義、効率主義で、手っ取り早く目に見える成果を求める風潮があります。自身自身を好きになれない学生が社会に出ると、効率主義に呑まれて、他人の評価に流されたり、競争に押しつぶされたりして、心を病む人も出てきます。「自分は愛されている」というキリスト教の考えを土台にすると、そこから自分はどう生きるか、他者や社会とどう関わるかが変わってきます。

### 喜ぶ者と喜び泣く者と泣く生き方をサポートしたい



泣く者と共に泣きなさい」という言葉があります。学生がそのままの自分を愛し、他者と共に喜び、涙するような生き方ができる手助けができればと思います。毎回、講義の最後に書いてもらうコメントには鋭い質問や意見が時々あり、考えさせられます。赴任して約1年、大教室では知識伝達型の講義になりがちですが、工夫をしながら皆さんの心に届く学問を教えたいと思います。

Profile

埼玉県さいたま市出身。青山学院大学法学部卒業。一時は児童文学作家を目指す。米国へ渡りフォーダム大学大学院史学部博士課程後期修了。博士（歴史学）。ユニオン神学校でキリスト教神学を学び、2017年4月より現職。○信条「千里の道も一歩から」

私のおすすめ本

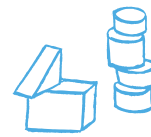
### ゴッド・ハズ・ア・ドリーム 希望のビジョンで今を生きる

デズモンド・ツツ著（竹書房）  
アパルトヘイト（人種差別）と戦い、人間の醜い姿を眼前にしながら、なお神の愛を信頼し、人間性の将来に希望をつないだツツ大主教の言葉は私たちに大きな挑戦を突きつけます。テロや戦争の危険など、恐れに屈しそうな現代に生きる人に必要な本です。



これが学びのツボ！

大学時代に「このことをものすごく頑張った」と言えることがあると、一生の宝になり、次に生かせます。ともに頑張れる同志がいると一層の宝に。また、多少無理をしても旅と読書をしておくと、何年か経ってからその成果が出てきます。



## 「多角的に見て気づく力」を学ぶ

教育学科 児童教育専攻 梅田 真理 教授

学問への  
いざない

### 私たちの特徴の 延長上にある強い個性

発達障害は、平成17年に「発達障害者支援法」が施行され、ここ十年で認識されるようになりました。発達障害の疑いのある児童・生徒は6.5%（平成24年調査）と、少なくありません。私たちがもついろいろな性格、特徴の延長線上に、こだわりが強い自閉症の人がいたり、すごくおつちよこちよいな注意欠如多動性障害の人がいたり、読み書きが困難な学



### 発達障害を学ぶことで 視点、引き出しが広がる

私の専門は、特別支援教育の中の発達障害です。来年度から始まる、特別支援学校の教諭の資格を取得するための授業と、小学校教諭を目指す学生に対して実践的な授業を担当しています。また、特殊研究という講義の「発達障害教育論」には、学科の垣根を越えて予想以上に大勢の学生が集まり、発達障害に対する学習意欲の高さを感じました。授業では、考える時間、心理的な疑似体験などのワークを多く採り入れています。授業の

習障害の子がいます。「いろんな人がいて当たり前。人と違って当たり前」という考えがもつと浸透するといいな、と思います。国が掲げる「共生社会」は、お互いを知り、思いやることから始まるのではないのでしょうか。

後は毎回感想を書いてもらいますが、学生たちの考えや成長がよくわかります。特別支援教育を学ぶと、知らないことと当然と見えてしまいうことも早めに気づいて手を差し伸べることが出来ます。また、子どもたちを多角的な視点から見ると、いろいろなアプローチが考えられるようになります。大学で学んだ知識は、社会の現場に出て、その先の深い学びにつながっていくと思います。小学校の先生でも、教職以外の職業でも、いろいろな場で学んだことを生かしてほしいと思います。

Profile

岐阜県下呂市出身。宮城教育大学言語障害児教育教員養成課程卒業。小学校教諭を経て仙台市健康福祉局へ出向、(独)国立特別支援教育総合研究所統括研究員、2016年4月より現職。(一社)日本LD学会常任理事ほか。○信条「やってやれないことはない」

私のおすすめ本

### 跳びはねる思考 会話のできない自閉症の僕が考えていること

東田直樹著（イースト・プレス）  
会話のできない重度の自閉症の方が書いた文章は、自閉症の方が何を考え、どう感じているかという内面を知るきっかけのひとつになると思います。障害者の知識がないとかわいそう、怖いというイメージがあるかもしれませんが、私たち以上に物事の本質をみて深く感じている部分があると気づかれます。



これが学びのツボ！

講義を聴いて気になったことやわからないことはそのまましないで、自分で調べてみましょう。違う知識に出会え、知識が深まります。多方向にアンテナを張ってツールを上手に使い、正しい情報を取捨選択しましょう。



## 音楽

聖歌隊やハンドベルクワイヤ、音楽リエゾンセンターの「楽友」によるコンサート、毎年大人気の手回しオルガンなど、“音楽の宮城学院”ならではの内容に来場者は大満足でした。



# 第4回 宮城学院



# クリスマスマーケット

昨年12月17日(日)宮城学院クリスマスマーケットが開催されました。第4回を迎える今年は、過去最高の来場者数を記録。大勢の家族連れなどで賑わいました。来場者たちは、宮城学院ならではの“ほんもののクリスマス”を堪能していました。



## マーケット

地元の人気店が多数出店するマルシェは、今年も大人気！当日限定の商品も多く、長蛇の列ができた店舗も。中には午前中で商品が完売してしまう店舗もあるほどの大盛況でした！



## 礼拝・展示

高校ハンドベル班の清らかな調べで幕を開けた開会礼拝。閉会式では、キャンドルサービスを行いました。また礼拝堂内では、ステンドグラス作家ガブリエル・ロワールの展示も催されました。



## レクチャー

クリスマスをテーマにした講話を楽しめる企画、対話形式で考えを述べ合う「てつがくカフェ」など、大学ならではの内容に、多くの来場者が集まっていました。



## キッズ

新登場のクリスマス村で遊んだり、広々とした中庭を走り回ったり、大型絵本の読み聞かせを楽しんだり、子どもたちは思い思いの時間を過ごしました。



## ワークショップ

ドイツの本格レシピで作成するシュトーレン、癒しの時間を演出するキャンドル作り、自然素材を使っての工作など、クリスマスにちなんだモノづくりを楽しみました。



## フード

フードマルシェで「本場ドイツの味」に舌鼓を打ったり、当日限定「クリスマスランチ」を味わったり、来場者たちはカラダもココロも“ぽっかぽか”のようでした。



## 河北みらいプロジェクトとは？

河北新報社と宮城県内6万人の高校生が一緒になって、地域の課題を考える「河北みらいプロジェクト」。その一環として昨年12月10日に行われた、女子高生のためのセミナー「宮城のみらいをつくる“女子力”を考えよう」に、MG卒業生が講師として登壇しました。

## Action

### 河北みらいプロジェクト MG卒業生が講師に

キャンパスから社会へ飛び立ち  
さまざまな場所で輝くMG卒業生。  
ここでは、社会の第一線で活躍するOGが  
女性の生き方、働き方について語った  
セミナーの様態を紹介します。

#### 第1部

### 4人のOGによるトークセッション 「宮城県のみらいをつくる“女子力”とは」

第1部は、「宮城の未来をつくる“女子力”」について語るトークセッション。司会は、東北放送・藤沢智子アナウンサーが務めます。トップバッターは、株式会社ラフ・アソシエイツ代表取締役の鈴木未来さんです。イベントやフライダルの企画・運営を行う鈴木さんは、「目標を持って行動する女性の美しさ」に感動し、「変わりたい、成長したいというパワー」

高橋梓さんは、幼稚園教諭という立場から「保育の現場で求められる女子力は、子どもの行動がどんな意味を持つか“見えないものを見る力”、保護者や職員の気持ちを“察する力”です」と述べました。

大崎保健所の管理栄養士・白崎葉子さんの捉える女子力は、「判断力・決断

力」と「しなやかに受け止める力」です。給食会社に就職後、大学院に進学し、宮城県職員に転じた経験を振り返り、「タイミングを見てチャレンジする覚悟も必要。辛い時も心に柔軟性を持って」と呼びかけました。

最後は、JAPANESE DENTO CORPORATIONで日本の伝統工芸を海外の建築に提案している佐藤友美さん。「職人も建築家も男性が多いので、女性の持つ柔らかさ、女性ならではの視点が求められています」と締めくくりました。



鈴木 未来さん  
(音楽科卒)



高橋 梓さん  
(発達臨床学科卒)



白崎 葉子さん  
(食品栄養学科卒)



佐藤 友美さん  
(心理行動科学科卒)



藤沢 智子アナウンサー  
(短大教養科卒)



高校生に「女性としての生き方、働き方」について語るOG

#### 第2部

### OGと高校生によるワークショップ 「どんな“女子力”をどう生かす？」

第2部は4グループに分かれ、OGと高校生によるディスカッションが行われました。各グループが話し合うテーマは、どんな女子力をどのように生かせば「宮城の企業がもっと元気になるか」「宮城をより子育てしやすい県にできるか」「宮城を健康大国にできるか」「宮城の伝統・文化を次世代に伝えられるか」といったもの。

この日初めて会った高校生が「宮城の未来について語り合う」という難しい課題でしたが、そこは「女子の底力」を発揮。OGのリードもあり、次第に活発な意見交換が行われるようになりました。

発表では、グループの代表者から「コミュニケーション能力・発信力・発想力・繊細さ・美意識・気配り」などの女子力を生かした提案が次々に出され、実り多いワークショップとなりました。



さまざまな意見が交わされたグループディスカッション

### 女性が培う“人間力” それが“女子力”です

セミナーの最後に、平川新(あらた)学長による総括講演が行われました。学長は、4人のOGの活躍を讃えた後、男女共同参画や女性活躍推進が今も議論されるのはなぜか、その背景について解説。「“女子力”という定義に縛られず、根本にある“人間力”を培ってほしい」と語りかけました。さらに「東日本大震災の被災地で育った人間として、思いやりの精神を忘れないでほしい」と訴え、「未来の扉は誰も開けてくれない。自分で開けるしかない」という鈴木未来さんの名言を引用して、高校生にエールを贈りました。



平川 新学長

つぼみ整膚院  
郷家 紗織さん

「整膚」について教えてください。

皮膚を優しくつまんで引く張ることで、身体中の血流を良くし、コリやむくみなどをほぐします。痛みがほとんどないので、身体を強く押されることや、もみ返しが苦手な方でも大丈夫です。し、薬品を使わないので、お肌の弱い方も安心です。

整膚師になったきっかけは？

勤めていた会社を退職後、特定指定難病が発覚し、薬の副作用でムーンフェイスになってしまいました。二度の入院後は、大腿骨頭壊死になり、歩くのに松葉杖が必要になりました。そんな時、たまたま近所の整膚院で施術を受けると、痛みがやわらいで、目に見えて体調が良くなったのです。それで、自分と同じように苦しんでいる方をラクにしてあげたい、持病があっても社会人として自立したい、という思いで整膚の勉強を始めました。



心がけているのは、丁寧に行くこと。いただいた時間内でお客様の健康に精一杯向き合おう。最近は肌を触ると弱いところがわかるそう

整膚を初めて体験した堀籠さん。「じわじわと身体が温まって、気持ちよくリラックスできました」。美容整膚にも興味があるそう

「体調は万全ではありませんが、お客様の健康と向き合っていきたい」。郷家さんの思いを聞いて「自分も頑張りたい」と堀籠さん

整膚との出会いは大きかったですね。

整膚で、信じられないほど体調が良くなり、身体も気持ちも救われました。整膚師を志してからは、整膚院を手伝わせてもらいながらいろいろ教わりました。先生が亡くなり整膚院が閉院した時に、先生のお客様から「整膚をやってほしい」と言われ起業の思いが強くなりました。

起業の準備は大変だったのでは？

仙台市で臨時職員として働いていた時にチャレンジショップの存在を知り、自分でもやってみようという思いから応募。出店しながら、学びの機会を得ました。仙台市起業支援センターの先生には、今でもお世話になっています。

起業するには人間関係が大事ですね。

チャレンジショップや起業塾の仲間との縁もあり、経験したことは全部つながっています。私は社交的な性格ではありませんでしたが、こういう理由で整膚をや

身体も心も元気になり  
世界を広げてくれた整膚を  
多くの方に広めたい



仕事でのやりがいやうれしいと感じるのは、どんなときですか？

元気がないお客様が、お帰りの際にいい笑顔になった時、やりがいを感じます。時には悩みを話していただくこともあり、ちょっとひと息ついて、心身ともにリフレッシュしていただけたらうれしいです。

学生時代は卒業したら正社員にならなきゃ、という思いが強くて、その反動からか病気をした時はうつのようなになりました。どん底を経験しましたが、整膚と出会い、目標をもって外に出ると、可能性がどんどん広がります。なんとかやれるんだ、ということがわかりました。学生の皆さんにも頑張ってもらいたいですね。

Profile 郷家 紗織さん

宮城県仙台市出身。仙台育英学園高等学校卒業。2008年3月に宮城学院女子大学学芸学部人間文化学科卒業。同年9月、北都レスター株式会社入社。2011年5月退社。2014年6月、整膚師と開業許可資格を取得。つぼみ整膚院を開院。2016年に東北ろっけんパークチャレンジショップ出店。2017年まちくるチャレンジショップ出店。現在、美容院他各所で実践。

【取材】  
広報室インターンスタッフ  
堀籠 莉奈 (国際文化学科4年)

【撮影協力】  
シャルム  
hair make Charme (宮城野区高砂)

サークル紹介 01

箏曲部

- 部員数：8名
- 活動日：毎週火曜日
- 活動場所：和室ほか

モットーは  
「和楽器ならではの音を楽しむ！」

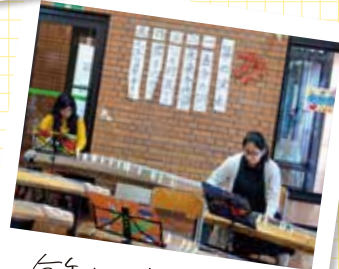
「一般的な楽器にはない“和楽器ならではの音”を楽しむこと」をモットーに活動しています。「さくら」などの古典はもちろん、ポップスなどのさまざまな現代曲も演奏。新旧の曲をバランスよく演奏することで、演奏の幅を広げています。一般的な琴は弦が13本のため、出せる音階が限られています。それもあり、現代曲を演奏することは大変な部分が多いのですが、思い通りの演奏ができた時の達成感は、格別ですね！

琴の魅力に触れることで  
和楽器に興味を持ってほしい！

10月に開催される大学祭は、日頃の練習の成果を発揮する場。毎年土曜・日曜の2日間、演奏発表を行っています。ほかにも、来場者の方々に実際に琴を弾いてもらう演奏体験なども実施しています。和楽器は「弾く」機会だけでなく「聴く」機会も非常に少ないもの。だからこそ、多くの方々に和楽器、特に琴の魅力を知ってもらい、興味を持ってもらえたらうれしいです。



琴の優雅な音色で  
聴く人を魅了！



毎年10月開催の大学祭が  
一番の見せ場！



部長  
齋藤 眞子さん  
(心理行動科学科2年)



「青森県産りんごPRイベント」開催！  
昨年11月、東北地区青森りんごの会の協力で、青森県産りんごのPRイベントを実施しました。

7日（火）には、大学附属森のこども園で、ミスりんごあおもりが「りんごクイズ」などを交えた食育授業を行いました。また学食のピエリス周辺では、カットりんごの無料配布、学生の自主活動「菜食プロジェクト」と宮城学院生協による青森県産りんごを使用した特別メニューが販売されました。



また25日（土）に開催されたオーブンキャンパスでは、平本ゼミの学生たちが来場者に青森県産りんごを使用したスペシャルスイーツを提供。両日とも、青森のりんごを堪能できるイベントになりました。

MGU×桜ヶ丘学区連合町内会  
「第3回桜ヶ丘杜の音楽祭」開催！

昨年11月18日（土）桜ヶ丘コミュニティセンターで、本学と桜ヶ丘学区連合町内会による「第3回桜ヶ丘杜の音楽祭」が開催されました。



本学からは、音楽科の学生やジャズ研究会、クラシックギター部が、町内会からは太鼓や大正琴、津軽三味線、オカリナ、ハーモニカなどに加えて、宮城大学に通うアフリカ諸国からの留学生が、それぞれ参加。多様な演出で、芸術の秋にふさわしい華やかなプログラムとなりました。

今年も大学「さくら寮」の寮生たちが運営を担当。前日の飾り付けや当日の受付・司会などをこなし、大活躍しました。



サークル紹介 02

クラシックギター一部

- 部員数：14名
- 活動日：毎週水・金曜日
- 活動場所：C407教室

入学後 初めてギターに触れた部員も  
先輩の指導でみるみる上達！

「明るく、楽しく、聴く人が笑顔になるような演奏を！」がモットーのクラシックギター部。入学後にギターを始める部員がほとんどですが、基礎練習を大切にしながら、先輩が未経験の後輩にマンツーマンで指導します。さらに、毎年夏休みには山形で合宿を行ってギター漬けの日々を送るので、みるみる上達していきます。これは、学年の垣根を超えて、メンバー全員が仲良しのクラシックギター部ならではの姿だと思います。

一番のモチベーションは  
たくさんの人に聴いてもらえること

日頃の練習の成果は、大学祭でのミニコンサート（毎年10月）や定期演奏会（毎年12月）などで披露。演奏曲はメンバー同士で相談して、ポップスだけでなく年配の方にも馴染のあるポピュラーな曲も入れています。やはりたくさんの方に聴いてもらえることが、一番のモチベーションですね！ 今後は、演奏を聴いていただく方々との縁を大切にしながら、有意義な時間を過ごしてもらえるようクオリティの高い演奏を届けたいです。



毎年多くの観客が詰めかける  
大学祭のミニコンサート



大学祭の前夜祭  
「仮装パレード」にも参加！



部長  
郷内 首乃さん  
(日本文学科2年)

1200「いいね！」突破！

大学公式 facebookに「いいね！」しよう！！



宮城学院女子大学に関する情報が  
いっぱいの公式 facebook。おかげ  
さまで、1200「いいね！」を突破しま  
した！未登録の方は、ぜひアクセス  
して「いいね！」してくださいね！



[www.facebook.com/mgu.ac.jp](http://www.facebook.com/mgu.ac.jp)

あとがき

「夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし。故に、夢なき者に成功なし」  
幕末の思想家・教育者である長州藩士・吉田松陰の言葉です。  
大きな夢を抱き、宮城学院の門をくぐった4年前、仲間と理想を語り合い、それを計画・実行した学生たちは今、旅立ちの時を迎えました。在学中に流した汗や涙は、成功へのエッセンス。宮城学院女子大学での学びを胸に、夢への第一歩を踏み出してください。